

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成26年2月27日(2014.2.27)

【公開番号】特開2012-166756(P2012-166756A)

【公開日】平成24年9月6日(2012.9.6)

【年通号数】公開・登録公報2012-035

【出願番号】特願2011-31090(P2011-31090)

【国際特許分類】

B 6 2 K 19/38 (2006.01)

B 6 2 J 23/00 (2006.01)

B 6 2 L 3/00 (2006.01)

B 6 2 J 25/00 (2006.01)

【F I】

B 6 2 K 19/38

B 6 2 J 23/00 C

B 6 2 L 3/00 Z

B 6 2 J 25/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月9日(2014.1.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車体フレーム（20）の下部に設けられるブレーキペダル（52）と、このブレーキペダル（52）に連結されると共に前記車体フレーム（20）の下部に固定され油圧を生じさせるマスターシリンダ（53）と、このマスターシリンダ（53）に配管を介して連結されると共に前記車体フレーム（20）に固定され余剰オイルを溜めておくリザーブタンク（58）とを有する鞍乗り型車両の制動装置において、

前記リザーブタンク（58）は、後輪（14）の上方を覆うリヤフェンダ（82）の下方に配置されると共に、前記車体フレーム（20）の後部を構成し車幅方向左右に設けられる左右のリヤフレーム（23L、23R）の下方で且つ前記左のリヤフレーム（23L）と前記右のリヤフレーム（23R）の車幅方向内方に配置され、

前記リザーブタンク（58）の車両前方の面（91）、後方の面（93）及び車幅方向内方の面（92）は、前記リヤフェンダ（82）から下方に延ばされるリブ壁（100）によって囲われていることを特徴とする鞍乗り型車両の制動装置。

【請求項 2】

前記リザーブタンク（58）の一部は、前記車体フレーム（20）を車両側方から覆う左のサイドカバー（72L）又は右のサイドカバー（72R）から露出するように配置されていることを特徴とする請求項 1 記載の鞍乗り型車両の制動装置。

【請求項 3】

前記リザーブタンク（58）は、車両前方から後方へ延ばされる前記車体フレーム（20）に固定され同乗者が足を載せるステップ（32L、32R）を固定するステップブラケット（31L、31R）と車両長手方向に重なる位置で、これらの左右のステップブラケット（31L、31R）の上方に且つ前記左のステップブラケット（31L）と前記右のステップブラケット（31R）の内方に配置されていることを特徴とする請求項 1 又は

請求項 2 記載の鞍乗り型車両の制動装置。

【請求項 4】

前記リザーブタンク（58）は、前記ステップブラケット（31 L、31 R）の車幅方向内方に配置されると共に、前記後輪（14）を揺動可能に支持するクッションユニット（39 L、39 R）の前方に配置されていることを特徴とする請求項 3 項記載の鞍乗り型車両の制動装置。

【請求項 5】

前記リザーブタンク（58）は、前記車体フレーム（20）に締結部材（87）により固定され、この締結部材（87）の締結軸線の延長線（87 j）は車両外側に露出されることを特徴とする請求項 1～4 のいずれか 1 項記載の鞍乗り型車両の制動装置。

【請求項 6】

前記リザーブタンク（58）は、前記リブ壁（100）の車幅方向外側に配置されると共に、前記左右のリヤフレーム（23 L、23 R）の一方と前記後輪（14）との間に配置されていることを特徴とする請求項 1～5 のいずれか 1 項記載の鞍乗り型車両の制動装置。

【請求項 7】

前記リブ壁（100）は、車両側面視で前記後輪（14）の車軸（109）より車両前方に配置されると共に、下端（100 b）が前記後輪（14）に重なるように延ばされていることを特徴とする請求項 1～6 のいずれか 1 項記載の鞍乗り型車両の制動装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項 1 に係る発明は、車体フレームの下部に設けられるブレーキペダルと、このブレーキペダルに連結されると共に車体フレームの下部に固定され油圧を生じさせるマスターシリンダと、このマスターシリンダに配管を介して連結されると共に車体フレームに固定され余剰オイルを溜めておくリザーブタンクとを有する鞍乗り型車両の制動装置において、リザーブタンクは、後輪の上方を覆うリヤフェンダの下方に配置されると共に、車体フレームの後部を構成し車幅方向左右に設けられる左右のリヤフレームの下方で且つ左のリヤフレームと右のリヤフレームの車幅方向内方に配置され、リザーブタンクの車両前方の面、後方の面及び車幅方向内方の面は、リヤフェンダから下方に延ばされるリブ壁によって囲われていることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

具体的には、左右のピリオンステップブラケット 31 L、31 R の下部に設けた嵌合部（図 2、符号 115 a、115 a）に、各々、左右のピボットプレートカバー 73 L、73 R が取付けられ、左右のピリオンステップブラケット 31 L、31 R の上部に設けた嵌合部（図 2、符号 115 b、115 b（図手前側の符号 115 b のみ示す。））に、左右のリヤサイドカバー 78 L、78 R が取付けられる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

図8に示すように、リザーブタンク58は、車両前方から後方へ延ばされるリヤフレーム23L、23Rに固定され同乗者が足を載せるステップ32L、32Rを固定するステップブラケット（左右のピリオンステップブラケット31L、31R）と車両長手方向に重なる位置で、左右のピリオンステップブラケット31L、31Rの上方に配置される。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0057

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0057】

図8を併せて参照して、リザーブタンク58は、ピリオンステップブラケット31L、31Rと車両長手方向に重なる位置で、ピリオンステップブラケット31L、31Rの上方で且つ車幅方向内方に配置される。車体に車幅方向外方から力がかかった場合であっても、リザーブタンク58は、ピリオンステップブラケット31L、31Rによってガードされる。結果、リザーブタンク58を保護することができる。

また、取り外したリザーブタンク58をピリオンステップ（ステップ32R）を利用して仮止めしてブレーキオイル交換を行うことができるので、メンテナンス性を向上させることができる。